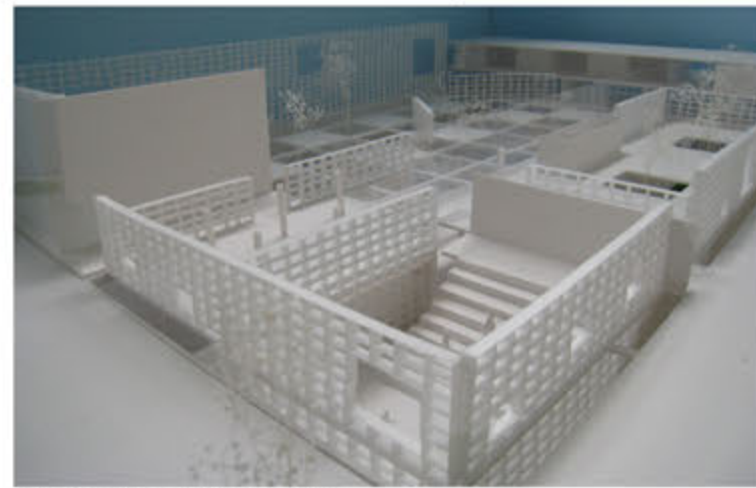


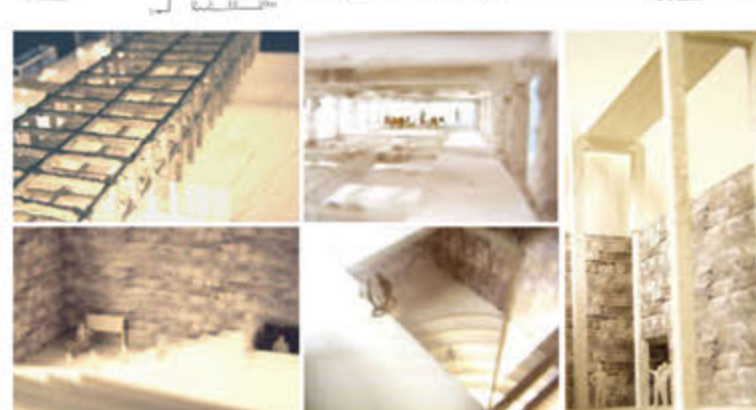
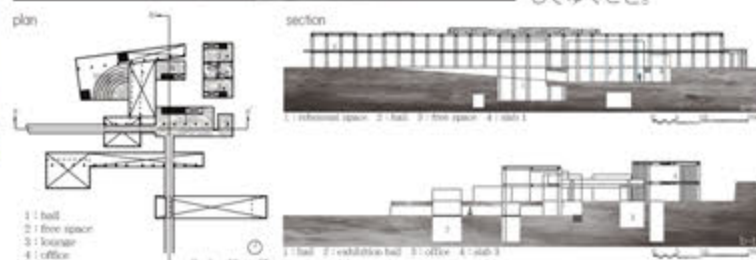
いきものに触れるー命を見つめる飼育施設ー 今田 光



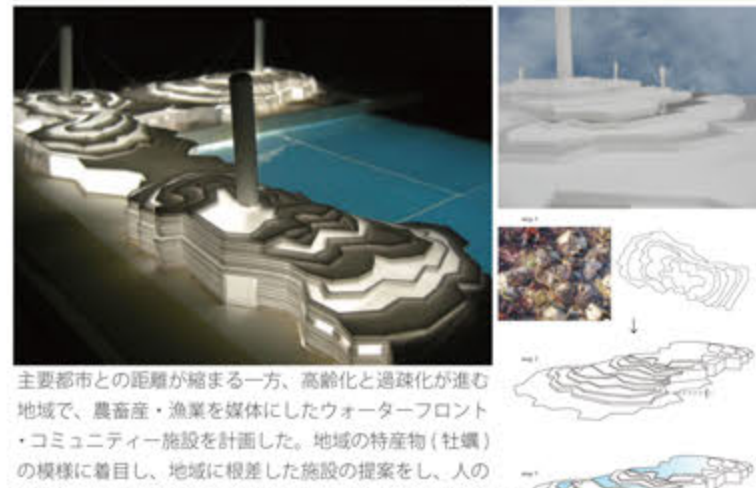
人は命の尊さを命の終焉を持って知る。
近年、都市部は高齢化が進み、ペットによるトラブルから飼育環境は減ってきた。情操教育に有効な動物飼育の環境改善を市民の意識改善から考える。ゲージの壁で構成された施設は、人間の都合により殺処分される数多くの犬・猫がいる現状を市民に訴える。



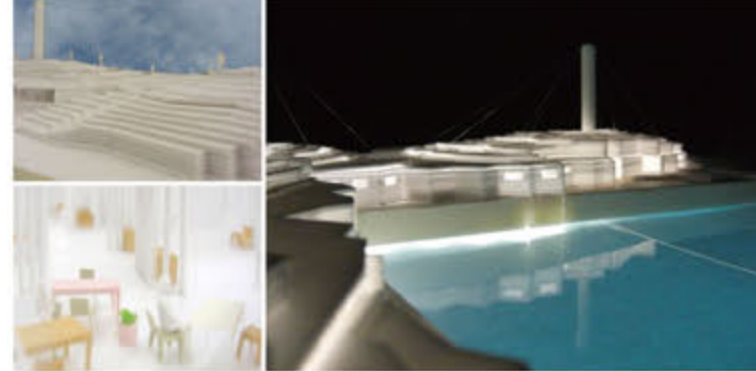
継承の器 木村 直樹



みんなで創る 佐々木 亜衣



主要都市との距離が縮まる一方、高齢化と過疎化が進む地域で、農畜産・漁業を媒体にしたウォーターフロント・コミュニティ施設を計画した。地域の特産物（牡蠣）の模様に着目し、地域に根差した施設の提案をし、人のぬくもりが感じられる平面プランと周辺住民と施設利用者が気軽に原色を楽しめる共有空間を創る。



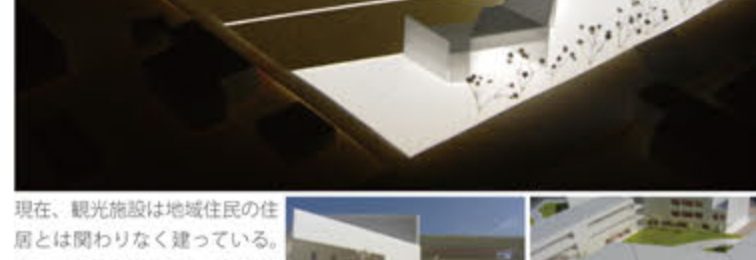
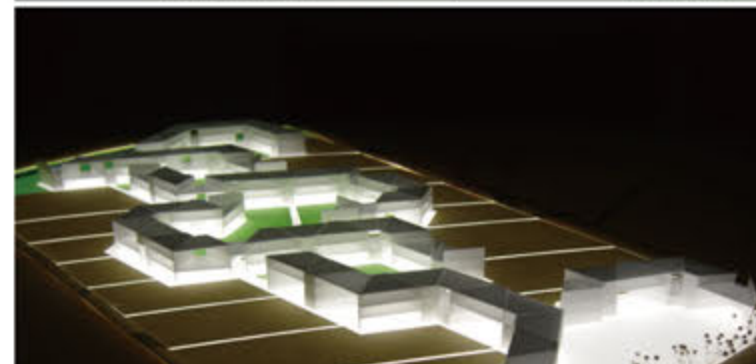
Settlementscape 佐藤 寛之



KABE michi 土持 拳

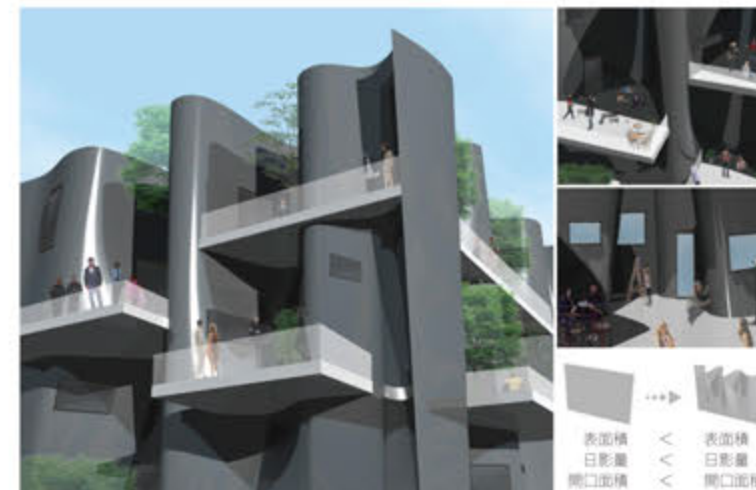


Various View 永田 光大



コロウム構造形態の解析と創生 2010 形態創生コンテスト 和田 大典

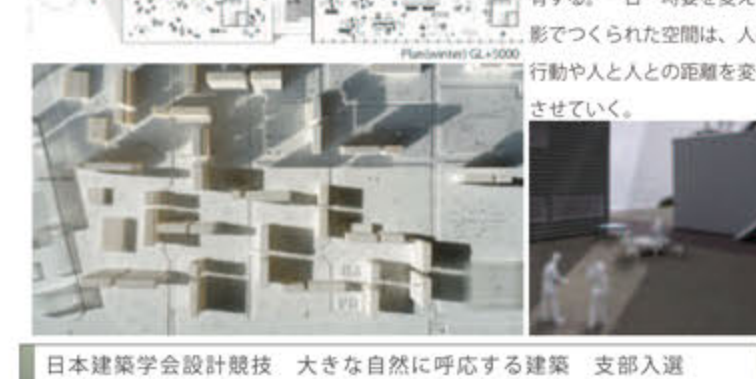
「ヒダ ヒダ」
「環境に優れたカタチ＝表面積の大きいカタチ」と捉え、表面積の大きなヒダ状の建築を提案する。ここでは、表面積と力学指標の同時最適化を行い、環境と構造の両方に適した建築形態を示す。



日本建築学会設計競技 大きな自然に呼応する建築 支部入選 「かげのキャンパス」 野見山 周作・野崎 尊+和田 大典+花原 裕美子



大きな自然に呼応する建築：F=f(x)=ax(t) a:建築物、x:太陽、t:時間、F:影 定数である建築物を介して、解である影でつくれる空間を提案する。そこでは多くの人が思いの行動をとり、場所を共有する。一日一時姿を変える影でつくれた空間は、人の行動や人と人の距離を変化させていく。



日本建築学会設計競技 大きな自然に呼応する建築 支部入選 「Stand-Standard」 東 佑二郎+若松 俊輝+王子田 千明

便利なもので囲まれることで自然の振る舞いを遮断しフラットな生活を送る現代人。かつての時間感覚を呼び覚ますためガソリンスタンドを自然のリズムが感じられる装置にすることで人々の時間感覚を時々、リセットする。個人の小さな「リセット」が増殖し、その時間感覚が常識「stan-dard」に変わることで、それが私たちの考える「大きな自然」。



休むってなんだろう ～建築的提案～

日時：2010.09.23～25
場所：マルヤガーデンズ

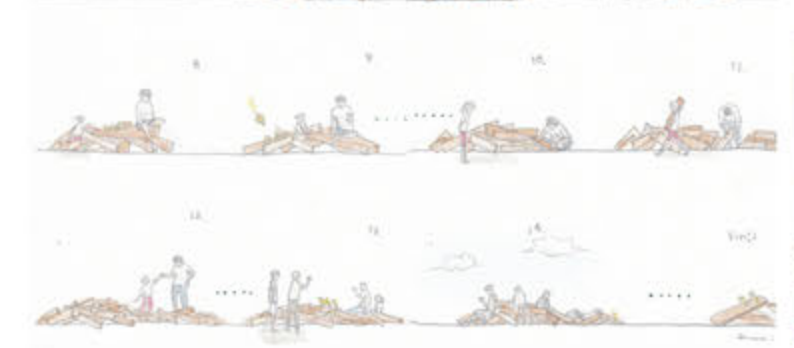
建築展とは
毎年建築学科の3回生が中心になって自主的に企画・制作・実施を行う伝統的なイベントで、学生にとってめったにない社会との接点でもあります。この建築展も今年で53回目を迎えました。今年はマルヤガーデンズで開催し、自分たちが今まで学んできた建築に関する技術・知識を用いて、今できる範囲での1/1スケールの空間作りに挑戦しました。



人それぞれ、場所それぞれの休み方

今回の建築展のコンセプトは「休むってなんだろう～建築的提案～」で、ベンチなどの形の決まった休憩場所ではなく、場所に応じた形に変化し、様々な形のあるなかで、人それぞれが居心地の良いスペースを自主的に見つけてもらうということを目的としました。そこで材料に木を用い、分解可能でその場で組み合わせて作ることができる休憩場所を作りました。分解可能にすることで様々な場所に持ち運ぶことができ、その場所に応じて好きな形を変え、その場所になじむことができる休憩場所を目指しました。今回は中央公園・磯海水浴場・鹿児島大学に設置しました。また展示空間のしきりとして、ストローを組み上げて立体トラス（三角形の構造）の壁を用いました。これにより空間は遮られつつ、視線の抜けを確保することができ、マルヤガーデンズでの「休憩場所」を演出しました。当日はたくさんの方にご来場いただき、子供から年配の方までたくさんの人の意見、使い方を聞くことができました。

この木の構造体は現在、建築学科製図棟横の芝生に設置しています。ぜひ一度体感してほしいと思います。あなたなりの休憩を見つけてください。



鹿児島大学工学部建築学科 建築設計作品集 aae vol.6

INFORMATION

2010 年度学生設計課題

数東路のレストハウス

一家の住まい

まちの出版社

美術館設計

都市に開かれた屋外競技施設

小学校設計

集合住宅を含む地域核の設計

卒業設計

コンペ入賞作品

第 53 回 建築展「休むってなんだろう～建築的提案～」

鹿児島大学工学部建築学科 建築設計作品集 aae vol.6

編集 東 真人（鹿児島大学大学院理工学研究科博士前期課程 2 年）

編集協力 境野健太郎（鹿児島大学大学院理工学研究科助教）

監修 鹿児島大学工学部建築学科

鹿児島大学 工学部 建築学科

http://aae.aae.kagoshima-u.ac.jp/

office@aae.kagoshima-u.ac.jp

〒 890-0065 鹿児島県鹿児島市都元 1 丁目 21-40

■ 2010 年度 建築設計演習カリキュラム

1年	設計基礎演習Ⅱ ・敷路のレストハウス	3年	建築設計Ⅲ ・都市に開かれた屋内競技施設「スイミングプール」 建築設計Ⅳ ・病院 ・集合住宅を含む地域核の計画
2年	建築設計Ⅰ ・住宅作品・敷地分析 ・「家のすまい」 建築設計Ⅱ ・まちの出版社 ・美術館	4年	卒業設計



学内合同講評会

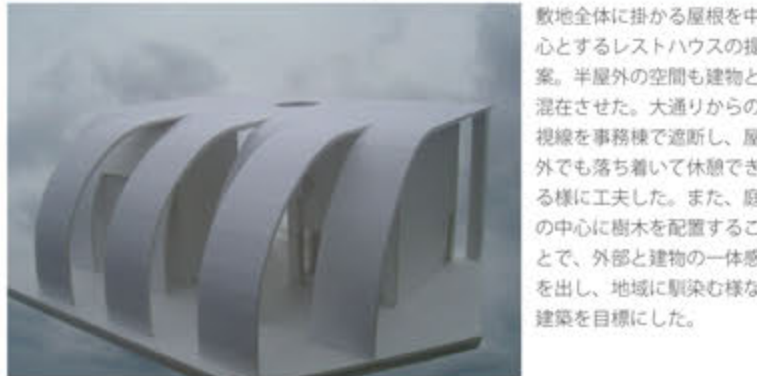
日時：2011/02/18
場所：鹿児島大学稲盛会館
今回の作品集掲載の設計課題作品は、2月18日に行われた学内合同講評会に選出されたものです。(写真は講評会の様子)



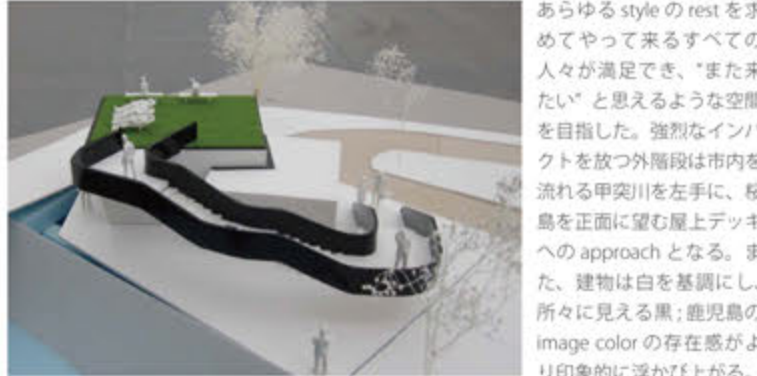
□敷路のレストハウス



Roofed Yard 清瀬 賢人



EVERY STYLE 美谷 舞



BEGIN ▽ 宮下 愛美



みんなにやさしいレストハウス 山下 朋佳



□…家のすまい



1.鹿児島市春日町(集う家) 敷地面積：150㎡
2.鹿児島市下荒田(写真家の住まい) 敷地面積：170㎡



写真家の住まい 横尾 拓也



みんなにやさしいレストハウス 山下 朋佳



みんなにやさしいレストハウス 山下 朋佳



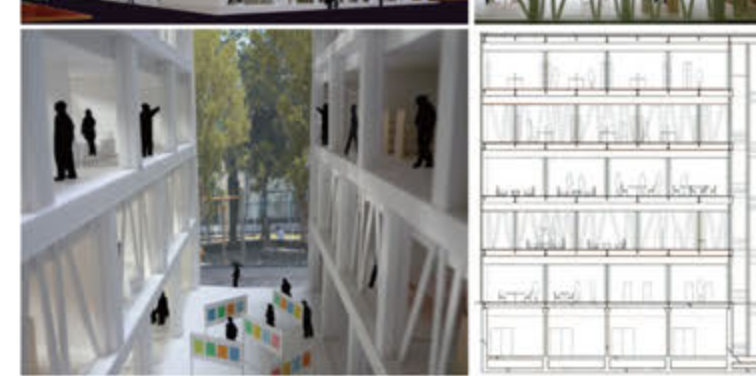
□まちの出版社



タイトルポケット 西森 裕人



写真家の住まい 横尾 拓也



みんなにやさしいレストハウス 山下 朋佳



みんなにやさしいレストハウス 山下 朋佳



□美術館



WAVE PARTITIONS 鎌田 彩夢



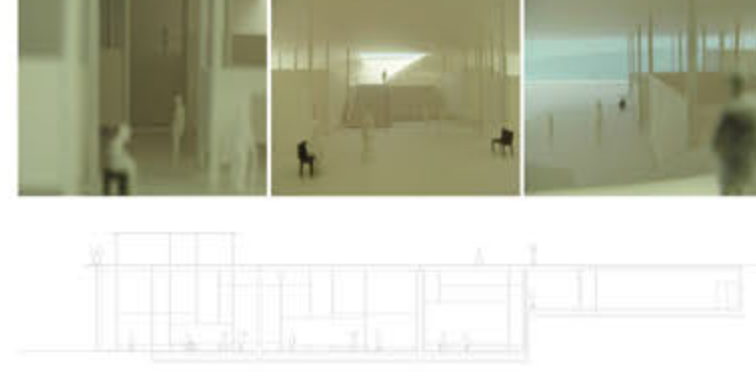
写真家の住まい 横尾 拓也



みんなにやさしいレストハウス 山下 朋佳



みんなにやさしいレストハウス 山下 朋佳



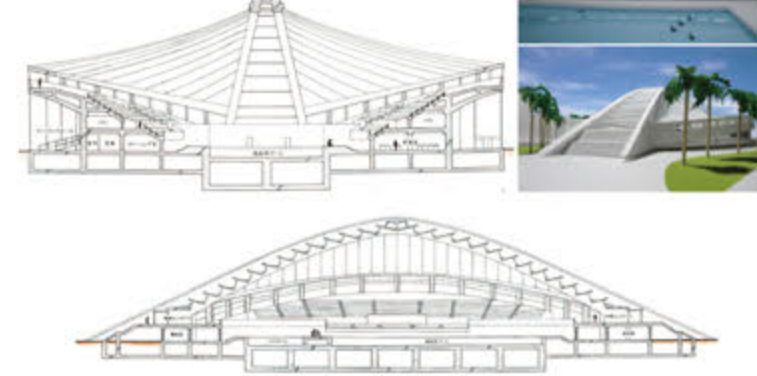
□都市に開かれた屋内競技施設「スイミングプール」



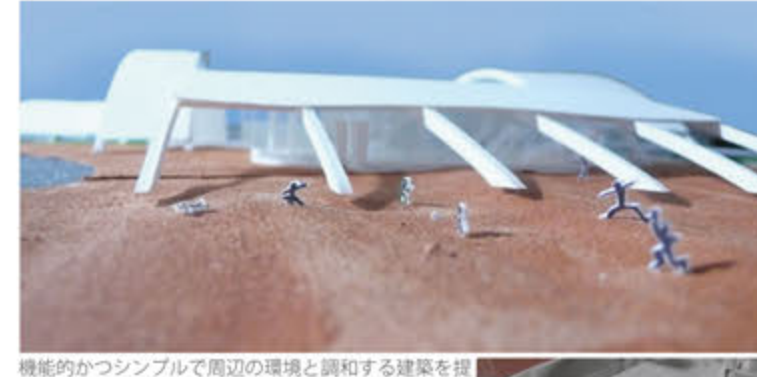
RISE UP 岩田 奈々



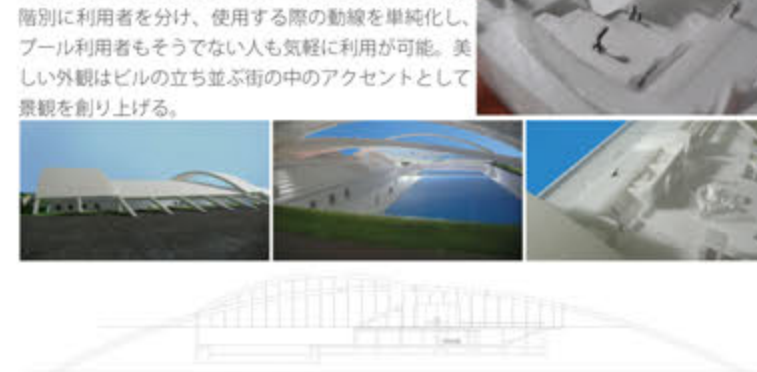
写真家の住まい 横尾 拓也



みんなにやさしいレストハウス 山下 朋佳



みんなにやさしいレストハウス 山下 朋佳



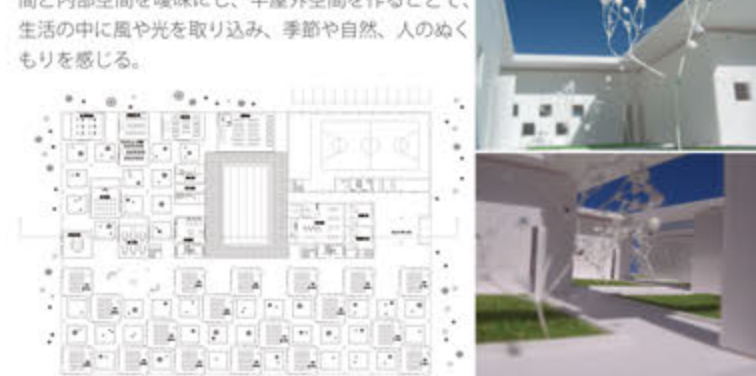
□小学校



点在する空間から成る学校 上野平 杏子



写真家の住まい 横尾 拓也



みんなにやさしいレストハウス 山下 朋佳



みんなにやさしいレストハウス 山下 朋佳



□集合住宅を含む地域核の計画



CONNECT 音壁 美里



写真家の住まい 横尾 拓也



みんなにやさしいレストハウス 山下 朋佳



みんなにやさしいレストハウス 山下 朋佳

